

NEWSLETTER

No.36

6 January 2006

・2005 年地理学教室の行事記録	・・・・1
・第5回ジオグラフィック・アライアンスの開催	・・・・2
・JICA ヨルダン国イラク国向け第三国研修 参加報告	・・・・3
・2005 年度地理実習の記録	・・・・3
・卒業論文公開口頭試験について	・・・・6
・2005 年度卒業論文公開口頭試験日程	・・・・6
・国土館大学地理学会費の納入について	・・・・8
・春休みにお勧めの一冊	・・・・9

【2005 年地理学教室の行事記録】

2月14日～16日	平成16年度 卒業論文公開口頭試験
2月19, 21日	修士論文公開口頭試験(内山, 鈴木)
3月20日	卒業式(卒業生・西菜保美さんが柴田賞を受賞)
4月29日	生物地理学野外実習(鶴川キャンパス: 磯谷)
5月26日～27日	1年生地理学野外実習
5月29日	生物地理学野外実習(生田緑地: 磯谷)
6月4日	9月卒業生公開口頭試験
6月4日	国土館地理学会(於 世田谷キャンパス 10号館 10329教室) <講演会> 長谷川均先生(本学教授)・後藤智哉氏(本学大学院生) ヨルダン北部の自然と人々 <総会> 10号館 10329教室 <懇親会> 1号館地下(スエヒロ学生食堂)
7月26日	大学院巡検(江戸東京の歴史地理: 岡島引率, 鈴木・日本史学の院生が参加)
7月19日～27日	測量夏期集中実習(世田谷: 中村六郎非常勤講師)
7月26日～27日	第5回ジオグラフィック・アライアンス(世田谷: 内田助教授・院生1名, 学生1名が 補佐, 参加者・11名)
8月2日～3日	国土館大学地理学会巡検(木更津・川崎: 加藤・岡島引率, 13名参加)
8月26日～27日	集中講義・日本の土壌環境(鶴川: 吉永秀一郎非常勤講師)前半
9月2日～3日	集中講義・日本の土壌環境(鶴川: 吉永秀一郎非常勤講師)後半
10月3日～4日	2年生地理学野外実習
10月25日～28日	3年生地理学野外実習
12月10日	国土館地理学会(於 世田谷キャンパス 10号館 10329教室) <講演会> 鈴木裕之先生(本学法学部教授) アフリカのゲッターから: アフリカ都市における若者たちの空間認識 <ゼミ発表> 高水泰裕, 山中知明, 吉田慈美, 石田勇介, 宇佐見誠, 小倉光平, 宮下智宏 <懇親会> 1号館地下(スエヒロ学生食堂)
12月16日	大学院修士論文中間発表会(発表者: 今井)

重要事項! 必ず読むこと!

研究室, 図書館から借りだしている書籍・備品は口頭試験の前(2月初旬)までに必ず返却して下さい。
4年生で未返却の者は, 卒業資格を満たしていないとみなします。

【第5回ジオグラフィック・アライアンスの開催】

「授業で使える地理学：江戸・東京の神話的空間と映画の中の場所の意味」

大学の地理学研究の成果を社会・教育界へ還元するという目的で、中学・高校の社会科教員を対象にした第5回の「ジオグラフィック・アライアンス」が、昨年に引き続き今年（2005年）も7月26日（火）・27日（水）の両日開催されました。本年度は「江戸・東京の神話的空間と映画の中の場所の意味」というテーマで、近年地理学界で研究が増えてきている人文主義地理学の視点から、1日目は前半がいま流行の風水や地霊といった「意味づけられた場所」を手がかりに、江戸・東京の都市構造を解釈する手法について紹介し、後半はアニメ映画「となりのトトロ」と「おもひでぽろぽろ」をテキストにして空間や場所の意味を解釈していく手法を紹介しました。2日目は初日前半の話を受けて「江戸・東京の神話的空間巡り」と題し、鈴ヶ森刑場跡・品川海蔵寺・品川神社・紀伊国坂・小塚原刑場跡・浄閑寺・新吉原遊郭跡・山谷・浅草寺などを巡検しました。

参加者は当初16名の予定だったのですが、1日目、首都圏を直撃した台風7号の影響で朝から荒れ模様の天気となり、5名が欠席、さらに午後から首都圏の各交通機関が止まるという情報が流れたため、当初の予定を変更して1日目の講義は内容を短縮して午前中だけとし、夕刻に予定していたレセプションを急遽昼食時に行い、午後の予定は中止することになりました。翌日は一転して台風一過の快晴で、今年一番の暑さとなり、予定どおりに巡検を行うことができました（参加者8名）。今年のジオ・アライアンスは台風というアクシデントで、当初の予定がすっかり狂ってしまい、参加した方々には大変申し訳ないことになってしまいましたが、リピーターの先生方はもちろん、初めてこの会に参加された方にもあるていど満足していただけたことが何よりの救いだったと思います。

（内田順文）



品川海蔵寺にて、無縁仏の塚の前で



浅草寺にて、参加者全員で

【JICA ヨルダン国イラク国向け第三国研修 参加報告】

地理学教室の長谷川均教授と大学院博士課程2年・後藤智哉君の2名は、2005年2月～3月に続いて、JICA(国際協力機構)の専門家として、ヨルダンハシミテ王国へ派遣された。イラクから遺跡の管理や発掘に携わる若い考古学者をヨルダンへよび、研修をおこなうというプロジェクトの継続的实施のためである。プロジェクトの主旨等はNewsletter前号(No.35)に譲り、今回は少し「裏話」的な報告です。

またヨルダンへ行ってきました

春に続いてまたまた、わたし長谷川と院生・後藤君はヨルダンへいってきました。この夏です。長谷川はひと月、後藤君はふた月の長丁場。ひと月以上いると、強制的にエイズ検査をさせられるので、長谷川はひと月目に脱出しました。滞在先はウム・カイスという北辺の寒村。ここでイラクの青年達を相手の講義です。ただし今回は、首都アンマンへのたびたびの出張がありました。旅行者はまず乗らない乗合バスと、長距離バスを乗り継いでアンマンへ。ここでは、ロイヤル・ジョルダン・ジオグラフィックセンターという、日本の国土地理院のようなところへしばしば通ったのでした。目的は地形図と空中写真の購入です。この組織は、国軍の管轄下にありますから、それはもうたいへんです。スナップ写真一枚撮るにも兵隊の目を盗んでというありさま。つてを頼ってどうにか、地形図や空中写真、デジタル化した空中写真などを仕入れました。

田舎からアンマンへ出たときの楽しみは、何と言っても食事です。暗いうちからバスに乗り、早朝アンマンに着くとまず、なじみのホテルへ。ロビーで朝のホット・チョコレートとサンドイッチです。フカフカのソファに身をゆだね、ああ至福の時間……。でも、このホテルでは、11月の爆弾テロで六十人近い犠牲者が出てしまいました。。。。。。

これでは当分ヨルダン行きは無理かもしれないと思っていたのですが、院生・後藤君は年末年始、ヨルダン滞在中。かの国に惚れてしまったようです！

春休みに海外へ行く学生も多いでしょう。危ない国へは行かないにこしたことはありません。しかし、初めて行く外国は、アジアやアフリカ、南米なんかがいいんじゃないかと、わたしは思うのであります。その理由は……。まあ自分で行けばおのずとわかるでしょう。

(長谷川均)

【2005 年度地理実習の記録】

1 年生地理学野外実習 A：5 月 26 日(木)、27 日(金)実施

長島・野口・長谷川・内田・岡島・磯谷・加藤

実 施 地：多摩丘陵北西部(東京都八王子市柚木付近)

参加学生数：75 名(男子 64 名、女子 11 名)

テ - マ：多摩丘陵北西部における地形改変と土地利用の変遷

内 容：過去(1939 年)と現在の地形と土地利用を調べて相互に比較することにより、この地域における地形改変と土地利用変遷の実態と特徴を明らかにする。

課 題：A4 版で 10 枚以上(図表を含む)のレポートを提出する。

2 年生地理学野外実習 B：10 月 3 日(月)、4 日(火)実施

長島

実 施 地：千葉県柏市・茨城県谷和原村・つくば市

参加学生数：11 名(男子 11 名)

テ - マ：常磐新線(つくばエクスプレス)の開通とその地域への影響

内 容：第 1 日 秋葉原駅周辺の再開発の観察、 柏の葉キャンパス地域の開発現状観察
夜、観察事項の報告と討論

第 2 日 みらい平駅周辺の開発現状観察、 研究学園駅前の「つくばスタイルフェスタ 2005」を見学(昼食)、 ビルの高層階からつくば研究学園都市中心部の観察、 まとめの会

課 題：各地点での観察事項およびそれに関して考えたことを中心に記述する。

400 字詰め原稿用紙にして 20 枚程度(含む図表、写真)

野口・長谷川

実 施 地：長野県霧ヶ峰高原

参加学生数：24名（男子20名，女子4名）

テ－マ：霧ヶ峰高原を例に，本州亜高山帯における自然環境を理解する

内 容：1）霧ヶ峰高原の地質学的・地形学的位置づけ
2）霧ヶ峰高原の気候学的位置づけと生態系，「風と地形→積雪と凍結融解→植生」の関係
3）霧ヶ峰と人的関わり（縄文時代から今日まで：黒曜石，狩場，採草地，スキー場，警察犬，ハイキング）

課 題：指定文献3本，地理実習資料，現地での説明をもとに，霧ヶ峰の植生分布に影響を与える地形・気候・人間活動などの役割を説明せよ

内田

実 施 地：山梨県富士五湖地域

参加学生数：5名（男子2名，女子3名）

テ－マ：風景の鑑賞法と場所に与えられた意味の解説

内 容：1．自然景観および歴史景観を実際に観察しながら，風景論の基礎，および風景の鑑賞法について実習する．
2．古くから日本を代表する観光資源である富士山について，その与えられた意味を記号論的視点から解説する．

課 題：レポート1：富士五湖周辺の風景の意味について
レポート2：観光地の記号（象徴）としての富士山

岡島

実 施 地：群馬県甘楽町小幡地区・富岡市

参加学生数：9名（男子9名）

テ－マ：小幡城下町の変遷と現状，および生糸生産について

内 容：小幡地区における現地調査，旧官営富岡製糸場の見学

課 題：標記のテーマについて所定の分量のレポートを作成する．なお夏休みに事前学習を行っている．

磯谷

実 施 地：長野県蓼科方面

参加学生数：12名（男子8名，女子4名）

テ－マ：山地帯～亜高山帯の植生

内 容：茅野市内から縞枯山にかけての地域でみられる植生帯について，組成，構造，動態，立地などの視点から調査した．

課 題：図表を含めて8000字相当以上のレポートを提出する．

加藤

実 施 地：東京都江東区．特に区立川南小学校区（千石2・3丁目，千田16-23番，海辺，扇橋3丁目）

参加学生数：12名（男子9名，女子3名）

テ－マ：江東区におけるマンション立地の現状

内 容：急増するマンション建設計画に対して，2002年に「江東区マンション等建設指導要綱」を改正し，「良好なまちづくり」を模索している江東区において，マンション急増の要因・問題点，さらにはそれへの対応等を，マンション立地の現状等の調査を通して学び，都市における土地利用変遷とそれに関わる問題に関する都市経済地理学的な研究手法を実践する．

課 題：調査結果に関する地図を作成するとともに，調査結果にもとづいた内容についてレポートする．

3年生地理学野外実習C：10月25日（火）～28日（金）実施

長島

実 施 地：秋田市及び周辺地域

参加学生数：11名（男子9名，女子2名）

テ－マ：各人の設定したテーマ

内 容：各人の設定したテーマにそっての資料収集および現地調査．夜ミーティング（報告と討論）

課 題：卒業論文の書き方を参考にしてレポートを作成する．400字詰め原稿用紙にして30枚程度（含む図表，写真）

野口

実施地：岐阜県高山市

参加学生数：11名（男子9名，女子2名）

テーマ：高山市における小気候調査：都市規模とヒートアイランドとの関係

内容：早朝と夜間における市内気温観測（定点観測と移動観測），および補正の方法，分布図の作成方法を学ぶ

課題：各自のテーマでレポート作成

長谷川

実施地：福島県会津田島町とその周辺地域

参加学生数：11名（男子11名）+大学院生1名

テーマ：段丘地形，崩壊地形，リモートセンシング

内容：各班に別れて，個別のテーマに沿って調査を実施した．

課題：20～30枚程度のレポート作成

内田

実施地：高知県高知市周辺

参加学生数：7名（男子5名，女子2名）

テーマ：テーマの設定は各自で行う

内容：坂本龍馬と観光イメージ，観光としての「お遍路」，観光地としての琴平神社と善通寺，四国4都市におけるうどん屋の分布，高知市の中心地機能，土佐くろしお鉄道の現状，四万十川における漁撈と漁具

課題：各自のテーマに基づいてミニ論文を作成する

岡島

実施地：北九州市とその周辺地域

参加学生数：12名（男子11名，女子1名）

テーマ：歴史地理学・交通地理学を中心に各自が設定

内容：山陽電気軌道の開通とその影響，コミュニティバスの普及と現状，北九州市営バスの路線変化，都市高速利用バスの役割，小倉城下町の変遷，ターミナル駅の空間，門司港レトロの開発と観光，北九州工業地帯の形成，北九州線の建設経緯と発展，英彦山の宿坊，北九州高速鉄道の現状と課題，モノレール守恒駅周辺地域の変遷

課題：各自のテーマに従ってレポート作成．

磯谷

実施地：和歌山県日置川町

参加学生数：10名（男子8名，女子2名）

テーマ：紀伊半島南部の生態地理

内容：日置川町の森林，草原，鳥類，魚類などを対象として，参加者各自が自ら設定した生態地理学的なテーマについて調査した．

課題：A4版で30枚程度（図表を含む）のレポートを提出する

加藤

実施地：兵庫県加古川市とその周辺

参加学生数：12名（男子10名，女子2名）

テーマ：各自が設定したテーマにもとづいた現地調査・地域調査を行う

内容：加古川市中心市街地における商店街の構造変化，加古川市の都市計画，加古川市中心街における高層建築物の立地と利用形態，後追い調査からみたショッピングセンターの利用形態，姫路市中心商店街の店舗立地，西脇市における中心市街地の変化，神戸市における震災復興のまちづくり など

課題：各自のテーマについて，『卒業論文の手引き』にもとづき，レポートをまとめる．

国土館地理学会巡検

第1回（引率者：加藤・岡島（8/3のみ））：8月2日（火）～3日（水）実施

実施地：木更津・川崎を中心とした東京湾岸地域（宿泊地：金谷）

参加学生数：13名（男子9名，女子4名）

テーマ：東京湾岸工業地域の変化 - 川崎市と木更津市を中心に - 世田谷の歴史地理

内容：東京湾アクアライン，新日本製鐵君津製鐵所，木更津市中心商店街，東京湾フェリー，川崎マリエン，川崎市の工業地区，味の素・川崎工場，川崎河港水門，川崎駅周辺地域開発などを見学

【卒業論文公開口頭試験について】

地理学教室では、卒業論文の審査が公平になされるよう各々の論文を2名の教員が閲読し、さらに公開口頭試験の結果を加味して合否を決めています。今年度も下記の通り、卒業論文の口頭試験が行われ、試験の結果から卒論の評点が決まります。試験は、持ち時間9分の口頭発表とそれに続く質疑応答です。発表者はあらかじめ卒論の要旨、図表などをまとめたレジュメを用意し、出席者に配布できるよう準備してください。また、質疑応答の際に必要な卒業論文のコピー、その他卒論作成に使用した資料や参考文献のコピーなどは、必ず持参してください（公開口頭試験の際に提示を求められる場合があります）。これらは卒論の合否が決まるまで処分しないこと。

就職が決まり、試験当日に社内研修などが予定されている4年生は、就職予定先に事情を説明し、研修欠席の手続きを済ませておくようにしてください。

なお評価の結果、優秀な卒論2編は、全国地理学専攻卒論発表大会（2006年3月中旬・東京学芸大学）で発表してもらうことになります。発表者は、2月15日中に決定し、すぐに通知します。

日 時：2006年2月13日（月）、14日（火）、15日（水） いずれも9:20～

場 所：世田谷校舎 10号館2階 10204教室（階段教室）

注意事項（よく読むこと）：

試験時間は、1人18分（発表9分、質疑応答9分）である。発表者は発表用原稿を必ず用意し、あらかじめ発表の練習をしておくこと。発表の内容はもちろん、発表の手際や発表の態度なども審査の対象となる。

（発表時の予鈴7分、本鈴9分）。

発表に際しては、かならず以下の要領でレジュメを用意しておくこと。レジュメはワープロによって作成することが望ましい。

1. レジュメは、論文題目、氏名、論文の要旨（目的・方法・結果を書く。字数が多くなりすぎないように、計800字程度を目安にするとよい）、説明に使用する図表によって構成する。
2. レジュメの枚数は、A3サイズで2枚、横書き（図表を含む）とし、各自40部ずつ用意する（自費でコピー：図表がカラーでないと凡例等が読み取りにくい場合はカラーコピーをするか、または口頭試験用に書き直すこと）。
3. レジュメは、発表者交代の合間に、当該発表者の次の発表者が配るものとする。その際、まずはじめに教員に配ること。

発表では、スライドやOHP、PCプロジェクターも使用できる。使用希望者は事前に専攻主任（長谷川）またはゼミ担当教員に申し出ること。なお、PCプロジェクターを使う場合、ノートPCは各自で用意すること。また、ディスプレイの設定等が必要なため、PCのマニュアルをよく読んで設定方法を確認し、発表までに動作確認等しておくこと。

3年生は卒論作成の参考のため、また来年の口頭試験のためにも、全員2日以上出席すること。1,2年生もできるかぎり1日以上出席すること。

【卒業論文公開口頭試験日程】

番号	氏 名	題 目	主査	副査
2月13日（月） 9:20～12:20 <進行：長谷川>				
1	高 谷 絵 美	北総台地における竹林分布の経年変化	磯 谷	長谷川
2	室 谷 卓 也	宇都宮市における宿泊施設の立地と分布	加 藤	磯 谷
4	柿 沼 美由紀	茨城県つくば市における商業地域構造の変化	内 田	加 藤
5	桑 原 崇	群馬県におけるGMSチェーンストア業の展開 - ベイシアの立地展開を中心に -	加 藤	長 島
6	鈴 木 秀 典	スパリゾートハワイアンズにおけるハワイイメージの形成	内 田	磯 谷
7	三 好 研 一	玉川上水分水における近現代にみられる機能変化と変遷 - 福生分水・拝島分水を中心に -	岡 島	長 島
9	高 久 泰 則	近世城下町の近現代における変遷過程 - 宇都宮と小田原を事例に -	岡 島	磯 谷
11	佐久間 順 也	太平洋側と日本海側の冬型気候の違い - 福島県と新潟県を横断する磐越自動車道沿線を例に -	野 口	磯 谷
14	石 井 利 幸	群馬県、鐺川における河成段丘	長谷川	野 口
15	上 野 容 隆	広島県呉市における中心商店街の構造変化と活性化対策	加 藤	岡 島

2月13日(月) 13:10~15:35 <進行:内田>

16	大沼 宇央	神奈川県三浦半島下山川および関根川におけるヨシノボリ類の分布状況と変遷	磯谷 長谷川
17	池田 翔	茨城県北西部におけるイノシシ・ハクビシンによる農作物被害と被害対策の現状	磯谷 長島
18	宮澤 貴行	東京都におけるカラス被害とその対策の効果について	長島 加藤
19	公塚 裕幸	近現代における渋谷駅を中心とする交通網の変容 - バス路線網を中心に -	岡島 内田
20	定敏 友亜樹	九州地方及び中国地方西部地域における降雪分布の特徴について	野口 磯谷
21	池田 彩子	中部日本における相対湿度の境界線について	野口 長谷川
22	石橋 賢二	琵琶湖周辺の風の特性について - 特に湖陸風を中心に -	野口 長谷川
23	小野 剛志	再開発事業に伴う鉄道駅周辺の変化 - 練馬駅周辺を事例に -	岡島 長谷川

15:45~18:10 <進行:磯谷>

25	中村 憲	歴史的町並みの景観保全とまちづくり活動の現状 - 栃木県栃木市を事例に -	岡島 長島
27	岡 佳正	近代以降における城郭と城下町の変容 - 関東の6城下町を事例に -	岡島 内田
29	友田 雅人	市川市行徳地区における人口急増問題 - マンション立地と学区編成 -	加藤 内田
30	市村 竜太	霞ヶ浦における水質保全と市民団体の役割	長島 長谷川
32	本多 奈美子	コンビニエンスストアの立地地点と取扱商品 - 武蔵野市に立地するCVSと国道20号線沿いに立地するセブンイレブンを事例に -	加藤 岡島
34	伊東 宏晃	神奈川県における大気汚染の現状 - 自動車排出ガスをもとに -	野口 長谷川
35	河原 慎二	東京都奥多摩山地における登山道の荒廃について - 高水三山を事例に -	長谷川 野口
36	本多 亜矢子	来場者の視点から見たテーマパーク - 東武ワールドスクエアを事例に -	内田 長島

2月14日(火) 9:20~12:20 <進行:加藤>

37	根本 祐樹	茨城県水戸市における都市地域の形成過程	長島 岡島
38	須田 愛子	テレビゲーム世界に見る東洋思想	内田 野口
40	森田 和樹	エコツーリズムの地域的展開と問題点 - 沖縄県各島での事例をもとに -	長谷川 長島
42	小川 泰弘	岐阜県神岡地域の鉄道の変化	岡島 長谷川
44	高島 正和	農村景観のイメージ - 景観写真を用いた調査からの比較 -	内田 長島
47	庭野 洋平	地方鉄道の開通における地域変化	岡島 長谷川
48	小野 偉子	隆起ベンチの形成とそれに関わる岩石の力学的性質 - 青森県津軽西海岸大戸瀬付近を例に -	長谷川 磯谷
49	村尾 文子	横浜絵地図の変遷と特性	岡島 内田
50	上江洲 智彦	沖縄県の米軍基地周辺における環境変化の一例 - 金武町周辺地域を対象に -	長谷川 野口
51	鈴木 保博	千葉・新潟における海岸漂着ゴミの差異 - 気象・海象を考慮した検討 -	長谷川 野口

13:10~15:35 <進行:長谷川>

52	松井 勇介	公園利用者の行動と水辺空間について - 井の頭恩賜公園と府中の森公園の比較を事例に -	内田 岡島
54	今永 健太	インド人コミュニティにおける在日インド人のつながり - 江戸川区西葛西を事例として -	内田 加藤
57	由良 僚祐	東京都における郊外型紳士服専門店の立地展開	加藤 内田
59	高木 美緒	日本における夏日・冬日・熱帯夜日数の経年変化とその地理的特徴	野口 磯谷
60	藤田 泰文	針葉樹人工林内に侵入した落葉林冠木の分布・組成およびその成立過程と機能について	磯谷 長谷川
61	臼井 直人	歴史都市小田原における駅前再開発と景観問題	岡島 内田
62	米原 直輝	静岡県富士市におけるヒートアイランド現象	野口 磯谷
65	小早川 享泰	風力発電の導入とその地域に及ぼす影響 - 青森県深浦町と東通村の事例を通して -	長島 加藤

2月14日(火) 15:45~18:10 <進行:野口>

66	内藤正樹	後追い調査からみた川越市中心商店街の利用形態	加藤内田
70	嶋田悠希	大宮駅前商店街の変容とその要因	加藤岡島
71	久谷仁美	新潟県南西部周辺域における地上風系 - 1994年1月から12月を例に -	野口磯谷
73	鈴木健太郎	神奈川県東部におけるドラッグストアの立地展開	加藤内田
76	伊賀智哉	地域社会における総合型地域スポーツクラブの役割と課題 - 練馬区を事例として -	岡島長島
78	東野雅俊	学校校歌における地理的景観イメージの表現 - 神奈川県川崎市を例に -	内田磯谷
80	野上歩	JR中央線武蔵小金井駅前商店街における店舗利用変化	加藤長島
84	宮沢大地	長野県高山村における猿害について	磯谷長島

2月15日(水) 9:20~12:40 <進行:岡島>

85	柴田理佐子	那覇新都心地区の開発 - 商業地区を中心として -	長島加藤
90	吉池務	箱根における温泉ブームによる入浴施設・利用客の変容	加藤内田
91	天野翔	江の川における河辺植生の組成とその分布について	磯谷長谷川
92	高橋聖果	茨城県南部・千葉県北部におけるウメノキゴケ類の分布とその成立要因 について	磯谷野口
93	根本和世	霞ヶ浦周辺地域のスギ衰退の現状とその要因	磯谷野口
94	土屋智史	世田谷区におけるまちづくりへの取り組み	長島野口
95	長嶋史弘	川越市中心市街地における駐車場の立地	加藤野口
96	木次理英子	近世宇都宮城下町の発展過程	岡島内田
100	橋口葉子	群馬県嬬恋村の土地利用の変遷 - 農業経営の観点からみた変化について -	長谷川野口
101	山口真実	江東区のマンション開発に伴う変貌 - 亀戸・二丁目地区を例に -	加藤長島
102	小宮亮作	東京都足立区におけるコンビニエンスストアの立地展開	長島岡島

【国土館大学地理学会費の納入について】

下記に掲げる者は、国土館大学地理学会費(4年ぶん 12,000円)が未納となっておりますので、至急お支払いください。地理学教室では、4年分の会費を納めていない学生については卒業を認めておりませんので、いずれ必ず払うことになります。早めに納入することを勧めます。

会費未納者は、必ず1月末までに郵便振替で会費を納入すること。期日内に納入しなかった者については、保護者宛てに督促状を送ります。

振替用紙は郵便局にありますので、「口座番号:00150-7-161762,加入者名:国土館大学地理学会」および通信欄に自分の学年と氏名を記入のうえ、所定の金額を窓口またはATMで振り込んでください(ATMでの振込のほうの手数料は安くなります)。

【春休みにお勧めの一冊】

学生諸君には比較的長い春休み・折角の機会ですので、旅行に出かけて見聞を広めることも「地理学徒」としては重要です(その際、事故には気をつけましょう)。また長い休みであればこそ、講義と関係する本を読んで理解を深めたり、また講義とは関係のない本をゆっくり読んで知識を広めたりするには絶好の機会です。とはいえ、「何を読んでいいかわからない」という人もいるかもしれませんが、各先生から「春休みにお勧めの一冊」を選んでもらいました。多くが地理学に直接・間接的に関係あるものです。演習の振り分けが迫っている2年生をはじめ、是非1冊くらいは読んでほしいと思います。

本は著者名順に紹介します。

菊池勇夫(2000) 飢饉, 集英社新書, 660 円

著者は飢饉(キキン)に関する著作で知られる日本近世史の専門家。飢饉・凶作のメカニズムと社会システムを歴史家の目線で追う。自然現象としての飢饉を気候学で学び、さらにその時代背景や社会情勢を本書で知って欲しい。(野口泰生)

越澤明(2005) 復興計画, 中公新書, 840 円

日本の主要都市は自然災害と火災によって大きな都市災害に遭ってきた。しかしそのたびに安全で暮らしやすい都市環境の整備のための復興計画を立案し実行してきた。全国で展開してきた新都市建設の中で東京の都市計画はどこまで実現してきたのか。近現代日本の復興の歴史を辿り、今後の都市づくりを展望する。(岡島 建)

佐藤雅彦・竹中平蔵(2000) 経済ってそういうことだったのか会議, 日経ビジネス人文庫, 630 円

「だんご三兄弟」や、最近では「ピタゴラスイッチ」(NHK 教育)で有名なクリエイター(慶應義塾大学教授でもある)佐藤雅彦氏が、かの竹中平蔵(誰だか知らないとしたら、ちょっと問題...)へのインタビューという形で、「経済」とは何かを平易に語る本。文庫本になって買いやすくなった(発行年は単行本のもの)。「経済」は難しい、と思っている人もいるかもしれませんが、そんな人でも「へー、なるほど」と思えることがたくさん。読むたびに、気付くこと・興味がある点がきつと変わるはず(おもしろい点が変わらないとしたら頭が全く進化してない証拠)。「読める」ようになったとき、この国の行く末(この考え方で「よい」のだろうか?)や、自分の今後に思いをはせざるをえないので、1・2年生にもお勧め。(加藤幸治)

富山和子(2005) 日本の風景を読む, NTT出版, 1,680 円

「日本の風景とは歴史の産物です」、「風景とは文化です」との視点から、海岸線にそってのびる海岸林、棚田など日本の原風景ともいえるような風景が、いつ頃どのようにして作られてきたかを、平易な文章で記述した著書です。もうひとつ楽しい旅行をするためにも一度手にとってみられては。(長島弘道)

中沢新一(2005) アースダイバー, 講談社, 1,800 円

「週刊現代」の連載が本になった。この夏話題になり、いくつも書評がでた。思想家が縄文海進時の地図を片手に東京散歩。地形と土地に隠された謎解きをし、ウンチクを語る。ホントは地理学者が書かねばならぬネタ。知識と教養がじゃまをし、文章が下手な先生方じゃマネのできない本。地理学者と地理学徒こそ読むべき1冊。(長谷川均)

堀田 満(1974) 野山の木1, 堀田 満(1975) 野山の木2, ともに保育社カラー自然ガイド, 各 735 円

日本に生育している代表的な樹木が、各種の特徴をつかみやすい図版付きで掲載されている、とてもハンディな本です。ほぼ全種に分布図がついているので、地理・環境専攻の皆さんにお勧めです。樹木に興味がある人には良い入門書となるでしょう。私も学生時代にとてもお世話になった本です。(磯谷達宏)

山崎昭・久保良雄(1984) 暦の科学, 講談社ブルーバックス, 620 円

ちょっと古いですが、本書を読んで中学校の理科で学んだはずの地球と太陽との関係をもう一度思い起こして欲しい。自然地理学の基礎は地球と太陽との関係を理解することから始まると思います。(野口泰生)

山田風太郎「魔界転生」角川文庫ほか多数

娯楽小説の傑作です。島原の乱直後に天草四郎が転生する冒頭から、ラストの伊勢船島における宮本武蔵との決闘まで、その流れるような物語(ストーリー)の展開と、随所にちりばめられた山場(クライマックス)の配置の妙には、非の打ち所がありません。主人公柳生十兵衛の人物像もよく立っています。脇役も使い方がうまい。さらに心憎いことには、敵の設定が一律でなく、その能力・性格などが全体の構成に沿って計算され尽くしており、最大の見どころである主人公との戦いも、それぞれに趣向が凝らされて、読むものを全く飽きさせません。この種のトーナメント式対決モチーフには、主人公より格上の対戦相手をどのように倒させるかという難問が常に横たわっているのですが、幸運や努力や都合主義といった安易な方法(例えば少年の作品のように)を用いることなく、読者の予想を上回る、それでいて十分リアリティのある解決法が、それぞれに用意されているのです。さすが山田風太郎です。この小説は、構想・構成・論理性いずれにおいても、よく完成された一本の論文を読んでいるかのような充実感を与えてくれます。一つの物語をつづるとは、こういうことを指すのだという、じつに的確な見本です。(内田順文)